

1

28.10.291800c
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊 日々報告

第1749号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1 本文（要約）

- (1) 情 勢
- (2) 本日の活動成果
- (3) 明日の活動予定

2 別紙類（細部活動状況）

- (1) 本日の成果
活動概要
- (2) 明日の活動
 - ア 活動に及ぼす影響
 - (ア) 情 勢
 - (イ) 基盤上（兵站・衛生・人事）
 - (ウ) 総括（評価）
 - イ 活動命令
 - (ア) 施設活動等実施に関する行動命令
（方針・指導要領・各部隊の任務）
 - (イ) 視察・来隊予定
 - (ウ) 隊長・副隊長・CSMの行動予定

3 じ後の予定

4 情報共有事項

5 参考資料

- (1) 気 象
- (2) 暫定政府樹立までの主要結節
- (3) 予想シナリオ（状況推移）と
日本隊に及ぼす影響
- (4) 部隊配置状況
- (5) タスク現況
- (6) 警備の態勢

1 本文（要約）

凡例 赤字：変化事項

1 情 勢

(1) 全 域

ア 和平合意関連

和平合意は、キール大統領が9月30日に地域保護部隊に関する国連への協力を再度示したことや、国際社会から地域保護部隊の早期受け入れや武器禁輸に関する圧力が加わったため、今後進展があるものと思料されるが、政府内高官による相反する発言が確認されていることから、引き続き議論は長期化する可能性もあり注視が必要

一方、南スーダン国内外において両勢力の内部分裂又は離反・統合の動きが確認されるとともに、マシャル第1副大統領派がキール政権に対する抵抗を示すとともにジュバ帰還への意思を示したことから、反主流派指導部の分裂、政府軍に統合されていた反主流派の一部離反、国内外へのマシャル氏の影響力の趨勢について注視が必要

北部のリーア及び南部において政府軍と反主流派（マシャル派）との緊張状態が継続し、予断を許さない状況が継続

イ その他の情報資料

キール大統領は地域保護部隊の展開に前向きな姿勢を見せ始めているものの、市民団体が地域保護部隊の派遣に関して反対を表明しており、対国連感情の変化には注視が必要

また、北部及び南部において、ディンカ族内での反エクアトリアン感情が増大しており、キール大統領が抑制を呼び掛けているものの、その動向には注視が必要

加えて、南アフリカ政府も和平合意への関与を示していることから、今後の政府間の動向にも注視が必要（併せて、プロパガンダにも注意）

(2) ジュバ市外

ジュバ郊外、特に、イエイ及びカジョケジでの政府軍と反主流派（マシャル派）との緊張状態及びエクアトリアー帯での武装集団による襲撃事案が増加するとともに、ディンカ族とエクアトリアン等との緊張状態も生起しているとともに、郊外へ至る経路上での通行許可証等を要求するS O F A違反が継続している。ジュバ南部への移動には、UNM I S Sによるパトロールによるプレゼンスの提示及びジュバ・ニムレ道沿いのウガンダ警察と、南スーダン警察との協力態勢の確立による治安の回復が期待されるものの、その状況に注視

- (3) ジュバ市内
 市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、夜間に治安機関が強盗、不審者等へ警告射撃等を実施しており、夜間は流れ弾が発生しやすい状態が継続
 また、南スーダン政府は安保理決議の受入を原則的に表明しているものの、引き続きS O F A違反の発生状況に注視
 [REDACTED]では、常統的に射撃が確認されており、[REDACTED]
 [REDACTED]逐次進展が見られるものの、ディンカ族とエクアトリアンの不安定な状態にあり引き続き些細
 対立、[REDACTED]
 な変化に注意が必要
 また、I D PとU N P O L等との小競合いにおいて[REDACTED]ことから、I D P内
 での対U N M I S S感情の変化には注視が必要
 加えて、キール大統領の死亡説やマロン参謀総長の解任説が流れる等、市民の不安が煽られるような噂が流れたこともあり、市民感情の変化には注意が必要（流布源は不明であるが、一時的に市内の一部が緊張状態になったことから、今後の政府の動向に注意）
- (4) ウガンダ
 2016年2月の大統領選及び5月の野党党首の収監以降は、大規模な暴動等は首都カンパ
 ラにおいては確認されていないものの、7月中旬の野党党首の出所以降、野党党首支持者と警
 察との間で小規模な衝突が首都カンパラにおいても発生しており、集会等の実施場所周辺では
 注意が必要
 また、治安はアフリカの中では比較的良いものの、強盗、窃盗等の一般犯罪の発生が確認
 されており、夜間の単独外出や昼間でもスラム等への立ち入りは危険を伴う
- (5) 活動に及ぼす影響
 宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要
 また、ジュバ市内においてはハラスメント及び政府軍による検問周辺での流れ弾、交通事
 故への巻き込まれには注意が必要
 なお、U N ハウス周辺においては射撃及び銃を携行し徒歩で移動する政府軍兵士が確認さ
 れていることから近傍での活動には警戒が必要
 マラム採掘場周辺においては、治安事象は確認されていないものの、政府軍による検問が存
 在することからハラスメントの発生には注意が必要であるとともに牛飼いの動向にも注視が必
 要

3 本日の活動成果

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。また、文化の日イベントを実施し、他国との信頼醸成を図る。併せて孤児院の慰問を実施し、南スーダンの将来を担う子供達の成長を支援して、南スーダンの平和と発展に寄与するとともに、日本国への信頼を醸成を図る。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区における給水活動（成果：6 t）

イ 人道支援実施のための環境作り等

なし

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

a 情報班をもって、UNトンピン地区における情報収集活動

b 隊本部をもって、ジュバ市内における経路偵察

(イ) 業務調整

隊本部等をもって、UNトンピン地区及びジュバ市内における業務調整

(ロ) 宿営地内活動

本部付隊をもって、宿営地管理業務

(ハ) 教育訓練等

なし

(ニ) 民生協力

なし

(カ) 隊本部等による、ジュバ市内における孤児院慰問

(キ) 隊本部による、UNトンピン地区における業者対応

(ク) 隊本部による、ジュバ市内における銀行業務

- エ 表敬等
な し
- オ 各種行事
宿営地における、他国を招いた文化の日イベント開催
- カ 国際機関等連携案件
な し

3 明日の活動予定

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区における給水活動

イ 人道支援実施のための環境作り等

なし

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

a 情報班をもって、UNトンピン地区及びジュバ市内における情報収集活動()
含む)

b 隊本部をもって、ジュバ市内における経路偵察

(イ) 業務調整

なし

(ウ) 宿营地内活動

本部付隊をもって、宿营地管理業務

(I) 教育訓練等

なし

(オ) 民生協力

なし

工	表敬等
	なし
才	各種行事
	なし
力	国際機関等連携案件
	なし

1 本日の成果

別紙第1「活動概要」

別紙第2「活動成果」

活動概要（UNトンピン地区）（1／5）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	その他	給 水	補給班	0800～ 1000	トランジット	2	給水車×1	
②	その他	給 水	補給班	1000～ 1200	インド歩兵大隊	2	給水車×1	
③		業者対応 (未実施)	隊本部 (S-4)	0830～ 1600	ウエストゲート	2	小型×1	
④		業務調整（輸送）	隊本部 (S-4)	0900～ 1630	MOVCON	3	小型×1	
⑤		広報活動	隊本部 (広報)	0800～ 1600	UNトンピン内	2	小型×1	
⑥	情報	情報収集	情報班		UNトンピン内			
⑦	その他	現場確認	1小隊	0900～ 1200	LV2病院	2	高機×1	

活動概要（UNトンピン地区）（2／5）



	広報活動
	情報収集

活動概要（UNハウス）（3／5）

UNハウス活動部隊なし

活動概要（ジュバ市内）（4／5）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情報	経路偵察	隊本部 (S-2)		ジュバ市内			
②	その他	銀行業務	隊本部 (S-4)	1330～ 1600	ジュバ市内	3	高機×1	
③		孤児院慰問	隊本部 (S-1) 各隊 広報	0900～ 1400	HOH孤児院 ジュバ市内	19	ランクル×1 高機×2	
④		孤児院慰問視察	副隊長 隊本部 (S-3)	0930～ 1400	HOH孤児院	5	ランクル×1	
⑤		業務調整	広報	1330～ 1630	ジュバ空港	2	高機×1	
⑥		経路確認	警護 隊本部 (S-1) (S-3)		ジュバ市内			
⑦		業務調整	隊本部 (S-1) (S-3)	0900～ 1000	ユニバーサル	2	ランクル×1	

活動概要（ジュバ市内）（5／5）



2 明日の活動

- (1) 活動に及ぼす影響
 - 別紙第3 「情 勢」
 - 別紙第4 「装備品等現況」
 - 別紙第5 「患者受診状況」
 - 別紙第6 「人員現況」
 - 別紙第7 「総括（評価）」
- (2) 活動命令
 - 別紙第8 「施設活動等実施に関する行動命令」
 - 別紙第9 「視察・来隊予定」
 - 別紙第10 「隊長・副隊長・CSMの行動予定」

情 勢 (1 / 5) / Situation

16

別紙第3-1

凡例 青字：新規
赤字：評価

1 南スーダン全域の情勢

(1) 和平合意履行に関する情報
新規追加事象なし

(2) 和平合意不履行に関する情報
新規追事象なし

(3) その他入手した主要な情報資料

■ 28日に来訪したエチオピア大統領とキール大統領の会談において、両者はお互いにエチオピア及び南スーダン内の武装勢力の支援はせず、軍事協力を強化することで合意し、南スーダン政府は、マロン参謀総長をアディスアベバに軍事協力に関する協議を実施させるために派遣する模様。また、エチオピアと南スーダンをつなぐ幹線道路の建設についても話された模様

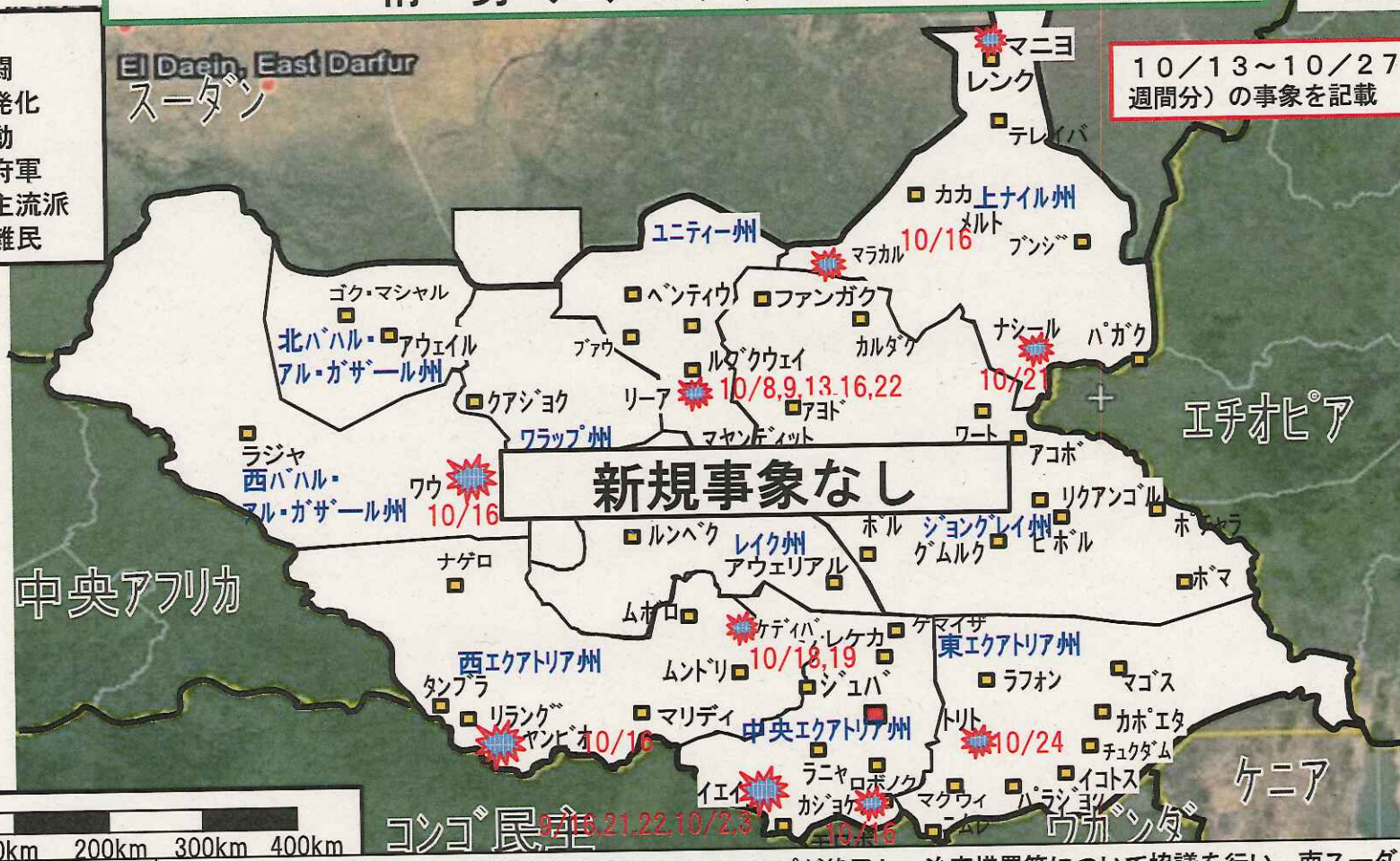
(28日 SudanTribune “Echiopia and South Sudan agree on tribe, border and military cooperation”)

→ 南アフリカ、隣国及び反主流派（マシャル氏派）の発言に注視

情勢 (2/5) / Situation

-  : 戦闘
-  : 活発化
-  : 移動
-  : 政府軍
-  : 反主流派
-  : 避難民

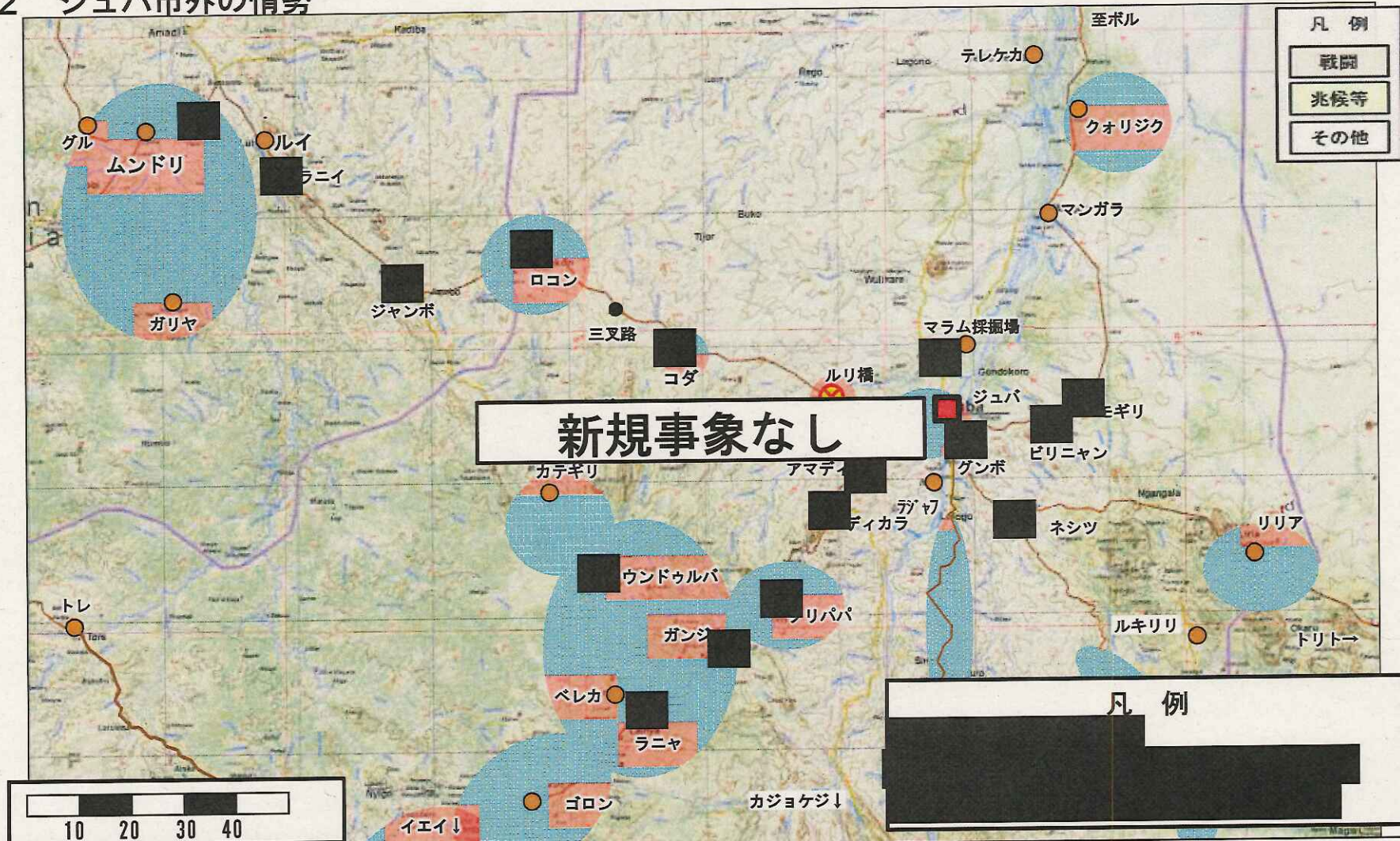
10/13~10/27 (2週間分) の事象を記載



100km 200km 300km 400km

評 価	和平合意	和平合意については、JMECによるワークショップが終了し、治安措置等について協議を行い、南スーダン政府は安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意し、J VMMも地域保護部隊の展開へ前向きな姿勢を示していることから、今後も逐次、協議が開催されるものと思料 北部及び南部において、政府軍と反主流派（マシャル派）との小規模な戦闘が継続しており、マシャル前第1副大統領のキール政権打倒のための武力抵抗の実施に関する発言に伴う、戦闘の拡大には注視が必要。また、南部では民間車両に対する襲撃が継続しており、ジュバ方向への物流に影響を及ぼす可能性があるため、注視が必要
	その他の事象	南部国境においては、難民が引き続き隣国へと流入するとともに、北部において国連による人道状況の調査も実施されていることから、文民保護に関するマンデートは今後も継続するものと思料。また、国連による10月中旬に予定される追加措置を前に、地域保護部隊に関する南スーダン政府側の対応に変化があり、これに伴う対UNMISS感情の変化には注視が必要

2 ジュバ市外の情勢



評 価

郊外における状況は未だ不透明であり、道路沿いで政府軍に対する反主流派による伏撃、エクアトリアン等に対する報復とみられる襲撃が発生している模様。乾季への移行に伴う、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

3 ジュバ市内の状況

新規事象なし



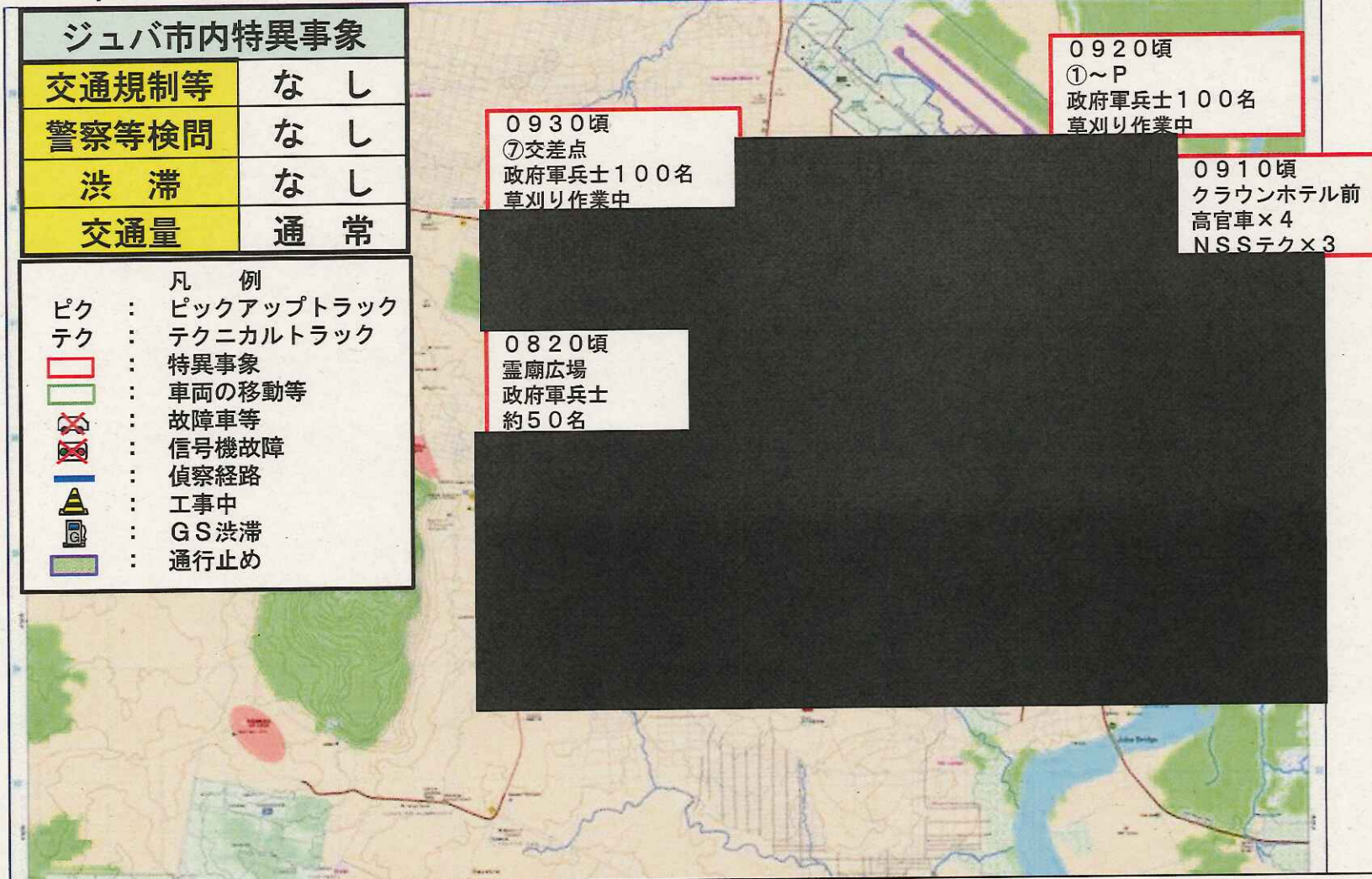
評 価

ジュバ市内は、日中は一定の安定を取り戻しているものの、各種離反に関する報道、イエイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[redacted]では、常続的な射撃や、[redacted]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスメント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要。また、IDPの対UNMISS感情の変化にも注視が必要

情 勢 (5/5) / Situation

20
別紙第3-5

5 ジュバ市内の状況 (0800~1100)



評 価

市内における全体的な警備強化等の状況は見られなかった。
交通量及び市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要

主要装備品等現況／Equipment Status

21
別紙第4-i

10月29日1800c

区 分	可 動 率	状 況	処 置
火 器	100% ■■■■■	な し	
車 両	100% ■■■■■	な し	
施 設	100% ■■■■■	な し	
通 信	100% ■■■■■	な し	
需 品	100% ■■■■■	な し	
衛 生	100% ■■■■■	な し	
その他		150KVA発電機×2 (逆浸透浄水装置用) オルタネータ不良	部品請求実施 ■■■■■ 整備完了まで予備の220KV A発電機×1を使用

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

22

別紙第4-2

10月29日1800c

区 分		品 名	総 数	取 得	返 納	保 管
弾 薬	B L	9mm普通弾				
		5. 5 6 mm普通弾				
		5. 5 6 mmリンク				
	T R	9mm普通弾				
		5. 5 6 mm普通弾				
		5. 5 6 mmリンク				
	計					
打ち殻		9mm打がら薬きょう				
		5. 5 6 mm打がら薬きょう				
計						

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

糧食維持日数：

喫食者数：318名（国連休暇-33、ウガンダ出張-2）

10月29日1800c

区 分	品 名	取 得	消 費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型				
		市販型				
		アルファ米				
		UN非常用糧食				
	耐 久 品	米				
		副食パック				
	UN食材	生 鮮				
		冷凍・耐久				
	現地調達	生 鮮				
		冷 凍				
	そ の 他	加熱剤				
燃 料	COE	UN軽油（発電機）				
	NOE	軽油（調達品）				
		灯油（調達品）				
		ガソリン（調達品）				
水	飲料水					
	海水淡水化装置（浄水）					

第10種補給品（水）の推移（1週間実績）

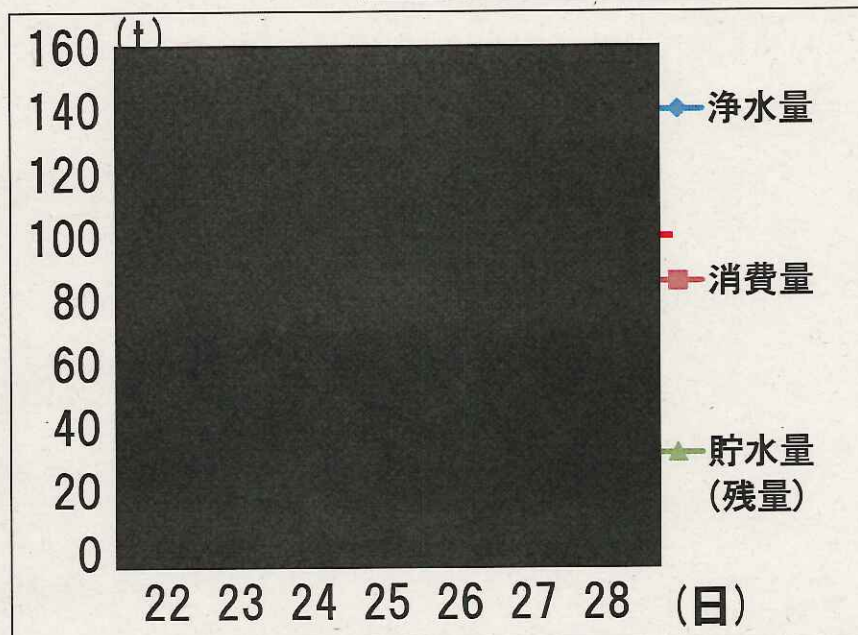
24
別紙第4-4

10月29日1800c

【H28.10】（10次要員）

凡例 — 消費量の目安ライン

曜	日	浄水量	消費量	貯水量 (残量)
土	22			
日	23			
月	24			
火	25			
水	26			
木	27			
金	28			



他国供給先（前日実績）	供給量
UNハウス	
トランジット	3
ネパールFPU	1
ネパール歩兵中隊	
エチオピア大隊	5
バングラ河川隊	
インド隊	
合 計	9

【評 価】

○第4井戸の故障復旧後、取水量は安定傾向を保っている。

再度、砂の埋没により故障となる可能性があるため、第5井戸の早期着手により対応

○第5井戸の工事期間：10月20日から11月上旬

→井戸内のパイプ接続及び孔内洗浄終了(10月26日1500c)

※ 貯水の危険水位：

(注)日々の消費量が を超える日が 日連続で続いた場合、貯水量が減少する。井戸の故障状況によっては数日で危険水位を下回る可能性もある。その場合はシャワーや浴槽、洗濯の使用を制限する。

患者受診状況

10月 28日 1400c
~ 10月 29日 1400c

本日受診患者なし

凡例： (再) → 再 診

人員現況／Personnel Status

	場 所	総員 (名)	事故 (名)	現在員 (名)	事故の内訳 (名)	備 考
第10次要員	ジュバ (UNトンピン)	353	35	318	○国連休暇33名 (10/27～11/1) ○ウガンダ出張 [REDACTED] 2名 (10/25～30)	

宿営地待機人員

区 分	人員数
待機人員	[REDACTED]

凡例 赤字：強調 青字：不在者

活動の分析及び評価

27

別紙第7-1

項 目		兆候上	発生する公算
情 勢	宿营地	流れ弾	9/27, 28, 10/4, 6, 9, 10, 11, 16, 17, 20 近傍での射撃（特に夜間）
	UNトンピン	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし
		疾病罹患・遺棄物での怪我	9/28 IDPの移送完了されるも天幕等残置
	UNハウス	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対
		IDPの流入又は侵入	
		流れ弾	
			10/4 WFZ（Weapon Free Zone：非武装地域）の予行の実施
	#1POCサイト	IDPとの小競合い（マシャル派、タバン派）への巻き込まれ	
	#3POCサイト	IDPデモ	7/27 食糧と女性の権利要求デモ
		IDPとの小競合い（マシャル派、タバン派）	9/17 SPLAのPOCサイトへの侵入
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置

活動の分析及び評価

項 目			兆候上	発生する公算
情 勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/12 UNMISSの移動の自由の保証（大統領報道官） 10/12 タバン第1副大統領の帰国（米国） 10/12 大統領の顕在誇示による市民の不安の払拭 10/19 JMEC全体会議の開催 10/28 イサ・ア 首相来南ス来訪 10/28-11/5 AU安全保障会議開催	
		反UNデモ	8/22 地域保護部隊に関する一定の譲歩、米からの資金援助 8/30 高官ゲートでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/27 制裁専門家バ・礼報告 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対	
		流れ弾	9/22, 10/26 ジュバ市内における射撃（タ方以降）	

活動の分析及び評価

29

別紙第7-3

項 目			兆候上	発生する公算
情 勢	ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	戦闘への巻き込まれ	10/13 政府軍の検問所は 存在	
		ハラスメント		
		犯罪への巻き込まれ	10/13, 17 エクアトリアンを標的とした犯罪 10/18 ディンカ族への襲撃に対する報復を抑制する大統領指示	
			10/24 ジュバ - ニムレ道沿いの「ガンダ」との協力態勢の確立	
	ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	戦闘への巻き込まれ	10/13 政府軍の検問所は 存在 10/14 ガダでの政府軍と反主流派の衝突	
		ハラスメント		
		犯罪への巻き込まれ	-	
	ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	戦闘への巻き込まれ	10/17 政府軍の検問所は 存在 10/26, 27 マラム採掘場の情勢は平穏 10/26, 27 政府軍車両の往来は、ほぼない	
		ハラスメント	10/26, 27 検問を異状なく実施	
		犯罪への巻き込まれ	10/26 約100名程度の住民が居住し、牛数百頭が放牧 10/27 部族間の感情は良好	

活動の分析及び評価

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	流れ弾		
UNトンピン 活動	反UNデモ		
	流れ弾		
	疾病罹患・遺棄物での怪我		
UNハウス 活動	反UNデモ		
	IDPの流入		
	流れ弾		
#1POC サイト	IDPとの小競合いへの巻き込まれ		
#3POC サイト	IDPデモ		
	IDPとの小競り合い IDP内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の 活動及び通行	ハラスメント及び巻き込まれ		
	反UNデモ		
	流れ弾		

活動の分析及び評価

32

別紙第7-6

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ～マンガ ラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ ～マラム採掘 場 周辺地域 ・テレケカ	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		

ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、マシャル氏がキール政権に対する抵抗を宣言したことから、ジュバ西部及び南部の戦闘には注視が必要。また、郊外の主要道路沿いでディンカ族や移動中の政府軍を狙った襲撃、その報復と見られるエクアトリアン等に対する襲撃が発生しており事態の拡大には注視が必要。加えて、コダ方面では、10月14日に政府軍と反主流派（マシャル派）の衝突が生起していた模様であり、UNMISS車両が衝突後、問題なく通行しているものの、10月21日また23日には政府関係車両に対する襲撃も発生していることから、道路沿いの政府軍車両に対する伏撃等への巻き込まれには注意が必要

では、常続的かつ単発的な射撃の発生、銃を携行した政府軍兵士及び#3POCサイトでの反主流派（マシャル派）の活動が確認されており、巻き込まれ及び流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。加えて、IDPとのUNPOL等との間で小競合いが発生しており、IDPの対UNMISS感情の変化には注視が必要

ジュバ市内においては、昼間は一定の治安の回復が見られるものの、夕方以降（暗くなる時間帯）は銃犯罪を含む犯罪が確認されており、不安定な状態が継続しており、流れ弾には注意が必要

加えて、大統領級の高官来訪時には市内及び郊外へ至る経路の警備が強化される模様であり、高官来訪時にはSOFA違反には注意が必要

また、キール大統領が地域保護部隊の早期展開に協力的な姿勢を見せ始めたものの、市民団体が反発を示すとともに、政府報道官が近隣国からの派遣を拒否する姿勢を示しており、対UN感情の変化には注視が必要

UNトンピン内においては、IDPの遺棄した不審物、疾病への罹患に引き続き注意が必要

総 括

34

別紙第7-8

評 価 (総括)	- 宿営地内及びUNトンピン内活動は、IDP移動完了に伴う道路整備等において、遺棄物等による怪我、疾病罹患に対する防護が必要 - ジュバ市内の移動・活動は、空港・検問によるハラスメントの可能性があるものの、それ以外の地域におけるハラスメントの可能性は低く、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察により市内状況を確認し、移動時間・移動経路の統制等処置が必要
-------------	---

処置・対策	疾病罹患	
	流れ弾対処	
	SPLA等によるハラスメント	
	戦闘への巻き込まれ	

明日の活動命令 (Operations)

- 1 施設活動等実施に関する活動命令
(方針・指導要領) (Policy & Guidance)
- 2 視察・来隊予定 (Schedules of visitors)
- 3 隊長・副隊長・CSMの行動予定
(CO/DCO/CSM Schedules)

10月30日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

1 情勢報告参照

2 (1) 隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

(2) ア 活動警備レベル（基準）

UNトンピン地区 レベル

イ 宿営地警備

3 (1) 共 通
各種整備

(2) HQU（本部付隊）

宿営地維持・管理活動、UNトンピン地区内給水活動及び

(3) MISec（情報班）

ア UNトンピン地区及びにおける情報収集

イ ジュバ空港における出張者送迎

(4) MPSec（警務班）

活動概要（UNトンピン地区）（1／5）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	その他	給 水	補給班	0800～ 1200	トランジット エチオピア歩兵大隊	2	給水車×1	
②	その他	給 水	補給班	1000～ 1200	ネパールFPU	2	給水車×1	
③	情報	情報収集	情報班		UNトンピン内			
④	施設	臨時工兵課タスク	器材小隊 広報	別示	UNトンピン内			

活動概要（UNトンピン地区）（2／5）



情報収集



臨時タスク

活動概要（UNハウス地区）（3／5）

UNハウス活動部隊なし

活動概要（ジュバ市内）（4／5）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情報	経路偵察	隊本部 (S-2)		ジュバ市内			
②		情報収集	情報班		ジュバ市内 及び 空港送迎			

活動概要（ジュバ市内）（5／5）



視察・来隊予定 (Schedules of visitors)

時 間	視察・来隊者	備 考
視察・来隊者等予定なし		

隊長、副隊長の行動予定

別紙第10-1

	AM	PM	課業外
隊長			
副隊長			

最先任上級曹長の行動予定

別紙第10-2

	AM	PM	課業外
最先任 上級 曹長			

3 じ後の予定

別紙第11「全般活動予定」

10月 月間業務予定

月		10月																																
日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
曜		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
全般				隊朝礼 曹士朝礼 先任陸曹等会同							隊朝礼							隊朝礼 曹士朝礼 先任陸曹等会同							隊朝礼					TGC等との信頼醸成			隊朝礼	
						VTC						VTC							VTC							VTC						ORI点検		
施設活動	UN トンピン																	給水活動 退避壕構築 トンピン地区内排水整備・道路整備																
	UN ハウス																	UNハウス地区西側外壁構築 UNハウス地区弾薬庫増設 #1 POCサイト南側排水溝構築																
	UN 施設外																	マラム採取																
	教育訓練																																	
連絡調整		定期工兵課報告																																
情報・保全		国連休暇前保全教育																																
人事・総務・厚生		国連休暇前教育																																
広報		国連休暇前報道対応教育																																
後方・会計・輸送		ウガンダ出張																																
警務・法務		国連休暇前教育																																
衛生・医務		国連休暇前教育(メアキン内服)																																
その他(表敬等)																																		

赤字：変化事項

11月 月間業務予定

[illegible]

4 情報共有事項

別紙第12「連携案件等情報」

連携案件等情報

1 形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現 状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA-PKO 連携案件	職業訓練 「#4 さくらPJ」	MTC	実施困難	MTC JICA	・10/1 JICA南スーダン事務所長交代 (ウガンダ事務所長兼任) ・10月中に東京JICA南スーダン事務所のウガンダ 移転完了予定も年内の南スーダンへの復帰見込みなし ・現在のUNMISSの活動の焦点・他業務予定を考慮 すると実施困難	
		フリーダムブリッジに おける作業支援	JICA 大日本土木	CRFにお いて実施の可 否を検討中	CRF JICA	CRFにおいて外務省及びJICAによるプロジェク ト継続等に関する再検討の結果待ち	
2	国際機関等 連携案件	UNOPS水質調査支援 (日本補正予算によるボ ル河川港建設PJに伴う 水質調査の依頼)	UNOPS (大使館)	工兵課から タスク発出済 み	UNOPS (※) (大使館)	当初予定されていたボル河川港建設準備のための事前 水質調査については別機関により実施済み。ただし、建 設中・後で引き続き水質調査が必要になることが見込ま れるため、支援依頼については引き続き継続	
3		UNハビタット (日本政府予算による ワウ・ジュバにおける 居住環境整備事業)	UN ハビタット (大使館)	大使館から連 携の可能性検 討再開の打診 あり	UN ハビタット (大使館)	・7/25に隊への事業内容に関する説明、隊から先方への 治安上実施困難である旨、連携には工兵課の承認を得る ための先方からのリクエストが必要である旨通報済み ・UNハビタットは、7月衝突事案以降中断していた施設隊 との連携に向けた調整を再開したいとの意志あり ・UNハビタット側から、施設隊との連携実現のためのUN MISS/レベル(DSRSG)への打ち込みを実施予定 ・10/21に、担当者から大使館・隊担当への説明予定	

※ UN Office for Project Services：国連プロジェクト・サービス機関)

凡 例 ◎： タスク化成立 ○： 自隊による実施 ×： 実行の可能性低 ー： 調整中

2 終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概 要	実施時期
	ODA-PKO 連携案件	なし			
	国際機関等 連携案件	なし			

5 參考資料

気 象 (29~30日) ジュバ/Weather JUBA

日からの総雨量 52

総雨量

0.1mm



日 (曜) Date		29日 (土)						30日 (日)	
時 Hrs		6~9	9~12	12~15	15~18	18~21	21~24	0~3	3~6
主要な活動		文化の日イベント・孤児院慰問				ウガンダ出張			
		UNの基盤整備							
		国連休暇 (9Gp)							
Juba	天 気								
	気温 (°C)	29	36	35	32	29	26	24	23
	体感気温 (°C)	31	37	36	33	29	27	25	25
	降水確率	20%	0%	0%	0%	70%	0%	0%	0%
	雨量	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm
	風向	東南東	東南東	東	東	東	東	東南東	南東
	風速	2	3	2	1	2	2	2	1
評価 Assesment	施設活動								
	行 事								

凡例 影響度: 問題なし < 一部制限 < 実施困難

資料源: WORLD WEATHER ONLINE

気 象 (週間) ジュバ/Weekly Weather JUBA

日 (曜)		30日 (日)	31日 (月)	11月1日 (火)	2日 (水)	3日 (木)
主要な活動		ウガンダ出張	総理大臣補佐官来隊			市内研修
			ORA点検			
			UNの基盤整備			
		国連休暇 (9 Gp)				国連休暇 (10 Gp)
Juba	天 気					
	気温 (°C)	38 / 22	39 / 22	39 / 24	40 / 24	38 / 23
	降水確率	80%	70%	60%	30%	30%
	雨 量	1 mm	3 mm	0 mm	0 mm	0 mm
	評 価					
Kampala	天 気					
	気温 (°C)	33 / 16	33 / 16	32 / 17	32 / 17	31 / 15
	降水確率	90%	70%	90%	90%	90%
	雨 量	5 mm	1 mm	2 mm	2 mm	6 mm

凡例 影響度:

問題なし

<

一部制限

<

実施困難

資料源: WORLD WEATHER ONLINE

評 価 Assessment

- 1 ジュバは週、31日までは不安定な天候が続く模様、局所的な降雨に注意が必要
- 2 ウガンダは週を通じて降水確率が高く、局所的な雨に注意

政府樹立までの主要結節／Process of Peace Agreement

区分	4月	5~6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	評価
全般	29 29		8 11 16	5 12 15 18	13~28 21 30	15 16 17 19		12 15	
軍			11 停戦合意	23 武力抵抗宣言	17 国連停戦履行呼び掛け				
外国軍撤退			ウガンダ軍展開(自国民保護)						
ジュバ非武装化			29 外国軍受入拒否	1 外国軍受入容認	5 UNMISSデイトに対する反発	13 16 RPF承認			
統合			17 来年初合	17 平和・安全	27 宿营地承認	28 37ラ派等離反			
議会の拡大			4 議長選出特別議会	15~ 暫定議会					
権力配分			閣僚の一方的な罷免	25 閣僚交代					
選挙			3 閣僚交代						
憲法修正									
政府樹立									
評価	和平合意については、キール政権及びタバン第1副大統領への非難を継続するマシャル氏とタバン第1副大統領との和平合意を推し進めたいキール大統領との間での対立が継続しており、タバン派SPLA-iOのための野營地の承認を除き、進展は低調な状況 JMEC主催の全体会議が実施されたものの、地域保護部隊に関する協議も遅延していることから、国際社会は武器禁輸の必要性を改めて主張しており、今後の南スーダン政府の対応に注視が必要								

予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects

2015. 8

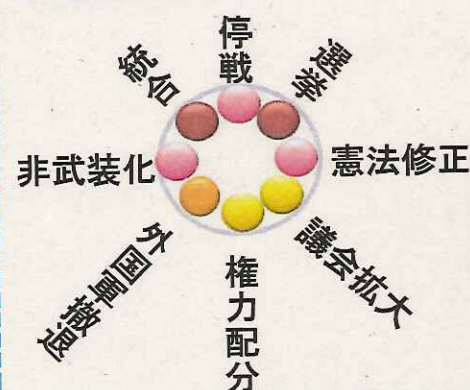
2016. 7

2018 →

安定

和平
合意

合意履行状況



不履行 ●●●●●●●● 履行 ●●●●●●●●

暫定
政府ジュバ
衝突事案政府
樹立

不安定要素

不安定

我に及ぼす影響

関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴う UN 活動の停止
- 武力衝突・[]に伴う、活動の制限
- []による負傷者発生
- ジュバ市内での大量の IDP の発生
- チェックポイント警戒強化 (私の移動制限)
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴う UN マンデートの変更
- 少数派による新体制批判デモ
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- SPLA と地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

セクターサウス内部状況（2016年10月27日現在）



 **エチオピア**
歩兵大隊 I
(本部: ジュバ)

 **ネパール**
歩兵大隊 II
(本部: ジュバ)

 **中国**
歩兵大隊
(本部: ジュバ)

 **ルワンダ**
歩兵大隊 I
(本部: ジュバ)

航空部隊
(本部: ジュバ)

 **日本**
施設部隊
(約350名: 本部: ジュバ)

 **バングラデシュ**
施設部隊 (本部: ジュバ)
河川部隊 (本部: ジュバ)

 **カンボジア**
憲兵隊: (本部: ジュバ)
医療部隊: (本部: ジュバ)

 **インド**
歩兵大隊 II
(本部: ジュバ)

 **エチオピア**
歩兵大隊 II
(本部: ジュバ)

 = 増派部隊

 = 後方支援部隊

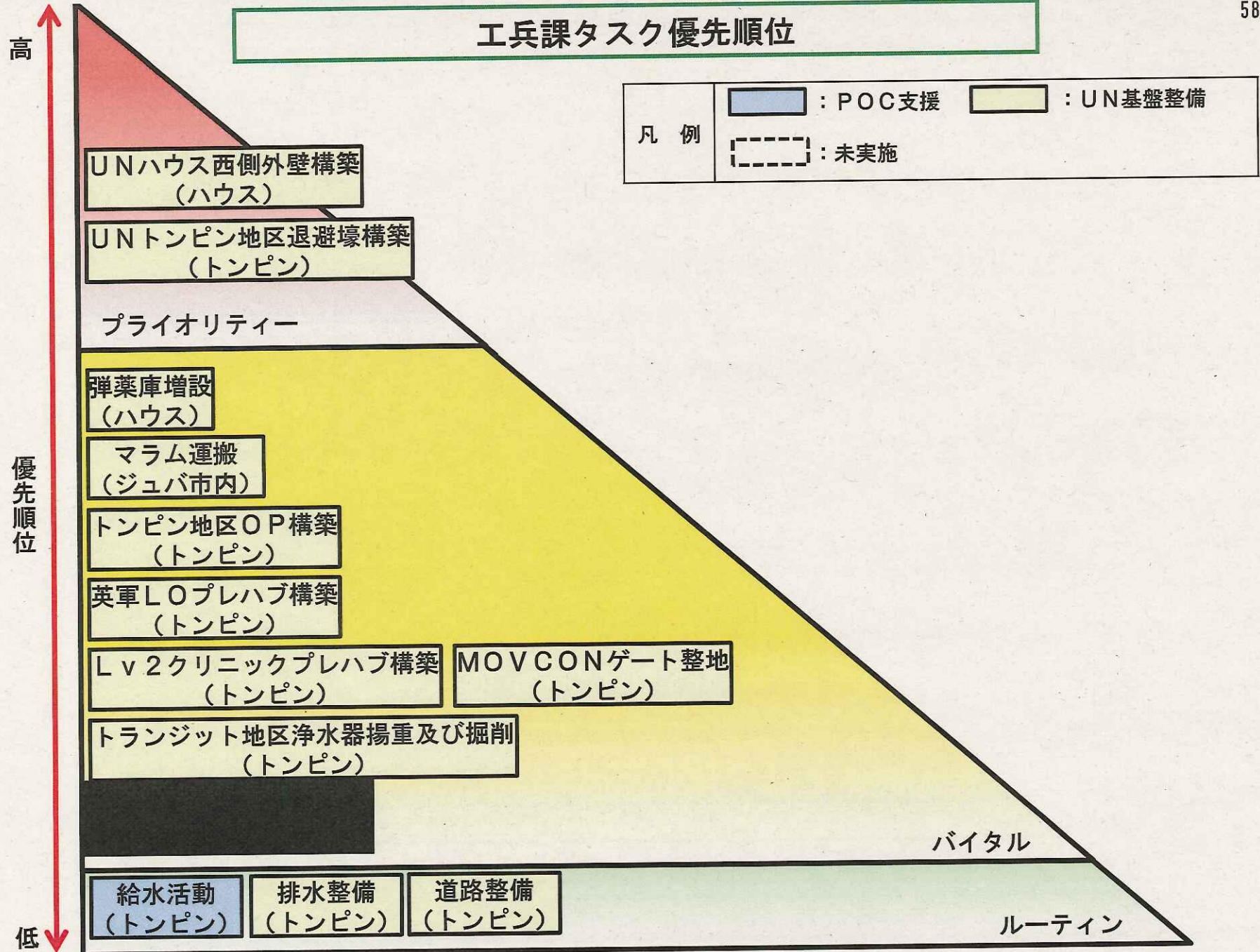
人員現況（第10次要員）

57
28.10.29
1800c

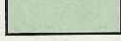
場 所	部 隊		総 員	内 訳			現在員	事故	理由
				幹部 (O)	准曹 (WS)	陸士 (P)			
ジュバ	隊本部								国連休暇 6 名
	本部付隊	付隊本部							国連休暇 1 名
		隊本部班							国連休暇 2 名
		整備班							国連休暇 2 名
		補給班							国連休暇 5 名
		通信班							
		衛生班							国連休暇 1 名
		営繕班							
		施設器材小隊							国連休暇 3 名
	第 1 施設小隊							国連休暇 3 名	
	第 2 施設小隊							国連休暇 3 名	
	第 3 施設小隊							国連休暇 2 名	
	警備小隊							国連休暇 4 名	
	情報班								
警護班									
派遣警務班		国連休暇 1 名							
合 計			353	65	252	36	318	35	

凡例 青字：不在者

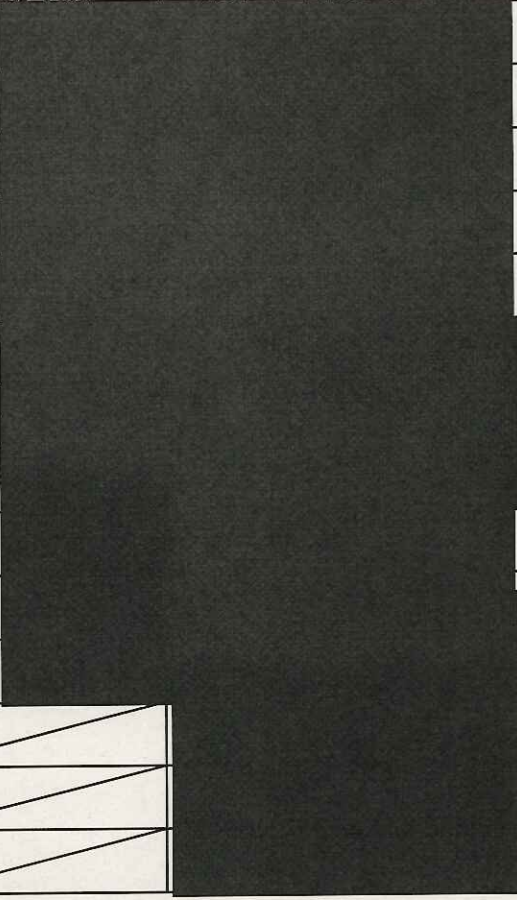
工兵課タスク優先順位



10月29日タスク等現況(1/2)

凡 例	 : POC支援	 : インフラ整備	 : UN基盤整備	 : 国際機関等連携案件
-----	---	--	--	---

1 実施中

タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
487	UN 基盤整備	1	UNハウス 西側外壁構築	UNハウス	ミフラム構築	実施 計画				
500	UN 基盤整備	2	マラム運搬	ジュバ市内	マラム運搬	本日 累計				
492	UN 基盤整備	3	UNトンピン地区 退避壕構築	UNトンピン	退避壕構築	実施 計画				
469	UN 基盤整備	4	弾薬庫増設	UNハウス	ヘスコ増設 外柵構築	実施 計画				
476	UN 基盤整備	5	トンピン地区OP構築	UNトンピン	ヘスコ構築 屋根構築	実施 計画				工兵課の指示 待ち
503	UN 基盤整備	6	英軍LOプレハブ構築	UNトンピン	プレハブ構築	実施 計画 実施 計画				
508	UN 基盤整備	7	Lv2クリニック プレハブ構築	UNトンピン	プレハブ構築	実施 計画				
507	UN 基盤整備	8	MOVCON ゲート整地	UNトンピン	整 地	実施 計画				
505	UN 基盤整備	9	トランジット地区 浄水器揚重及び掘削	UNトンピン	揚重及び掘削	実施 計画				工兵課の指示 待ち
509	UN 基盤整備	10	ネパール歩兵大隊 敷地整地	UNハウス	整 地	実施 計画				
325	POC 支援	11	給水活動	UNトンピン	給 水					
471	UN 基盤整備	12	排水整備	UNトンピン	排 水					
459	UN 基盤整備	13	道路整備	UNトンピン	道路整備					

10月29日タスク等現況（2／2）

60

凡 例

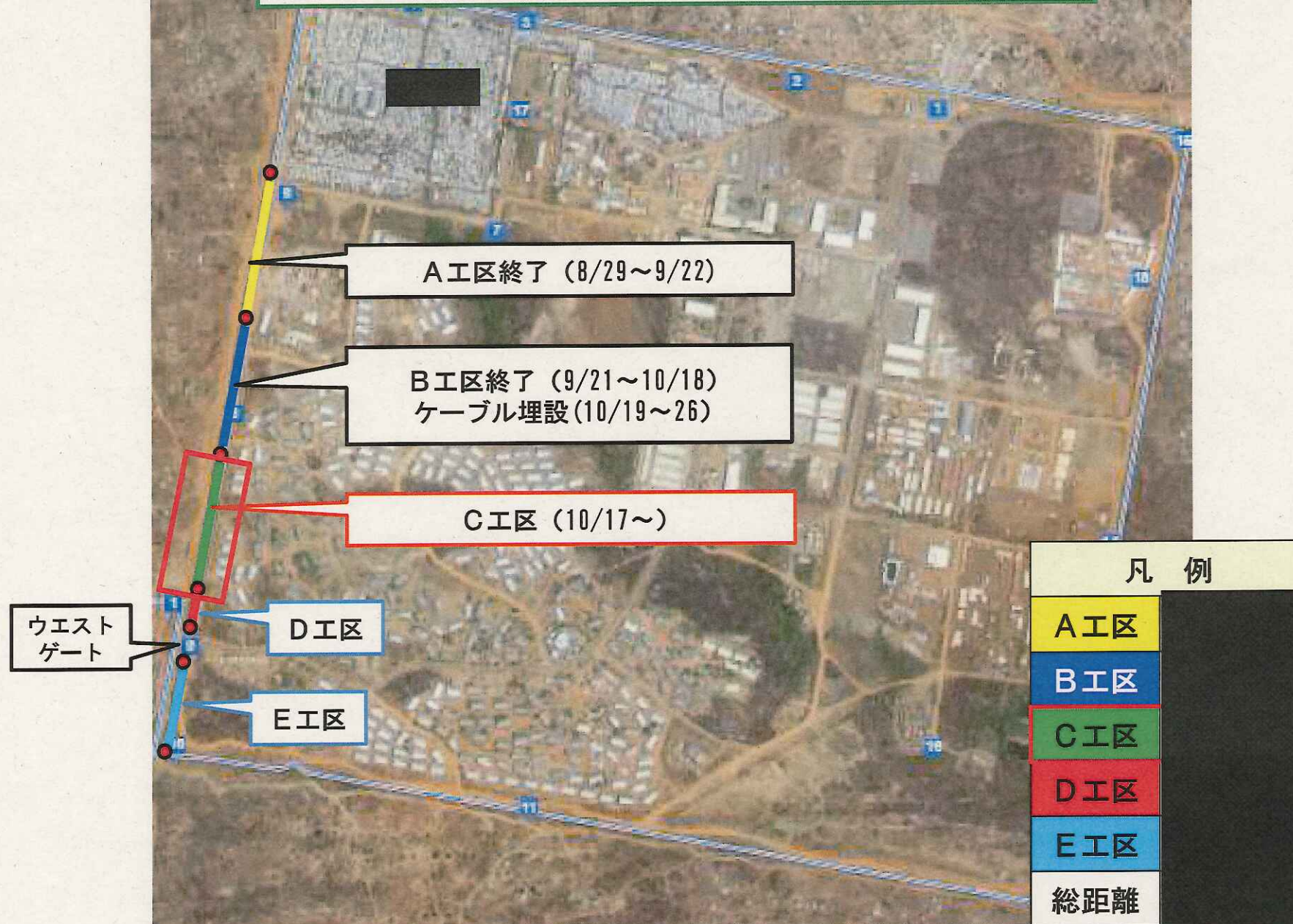
: UN基盤整備

2 未実施

タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
456	UN 基盤整備			UNトンピン						

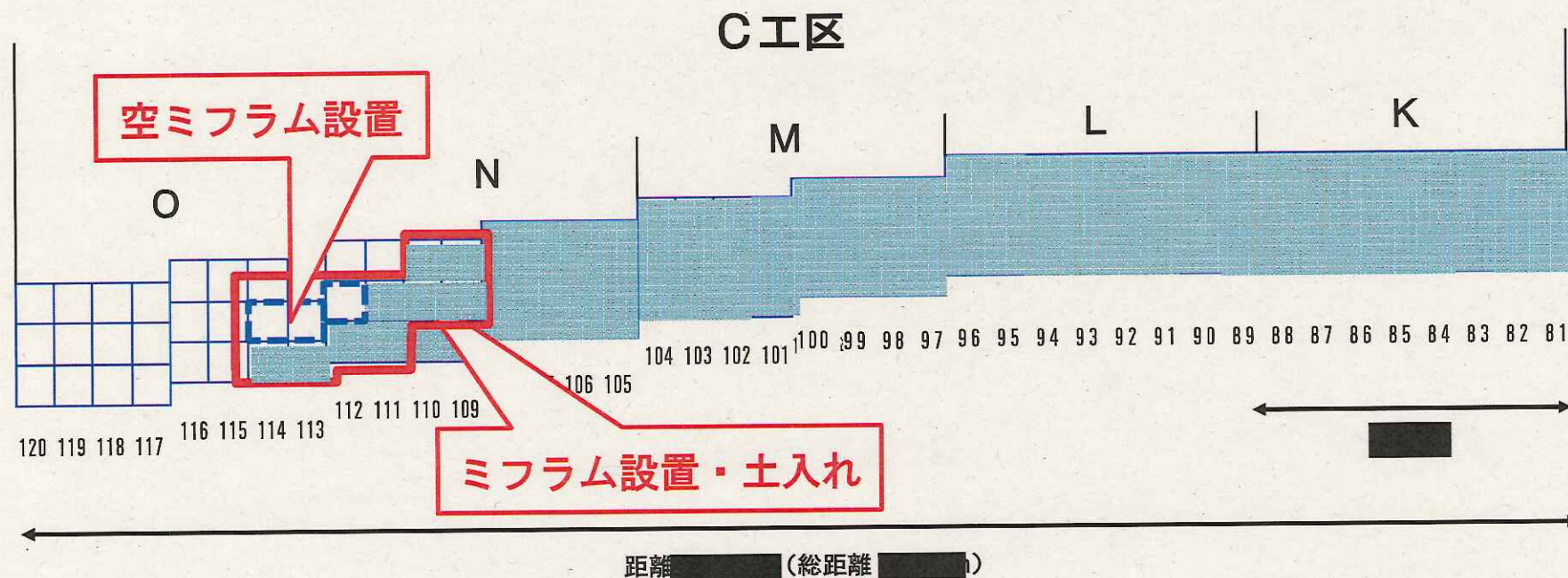
タスク累計受領数（完了数）	タスク実施数（第10次要員）		
509 (493)	プライオリティー	14	
	バイタル	69	
	ルーティン	3	
	計	86	
		完 了	73
		実施中	12
		未実施	1

UNハウス西側外壁構築全体図



UNハウス西側外壁構築（10月29日現在）

62



凡例

- ミフラム設置
- 空ミフラム設置箇所
- 本日作業箇所

成果

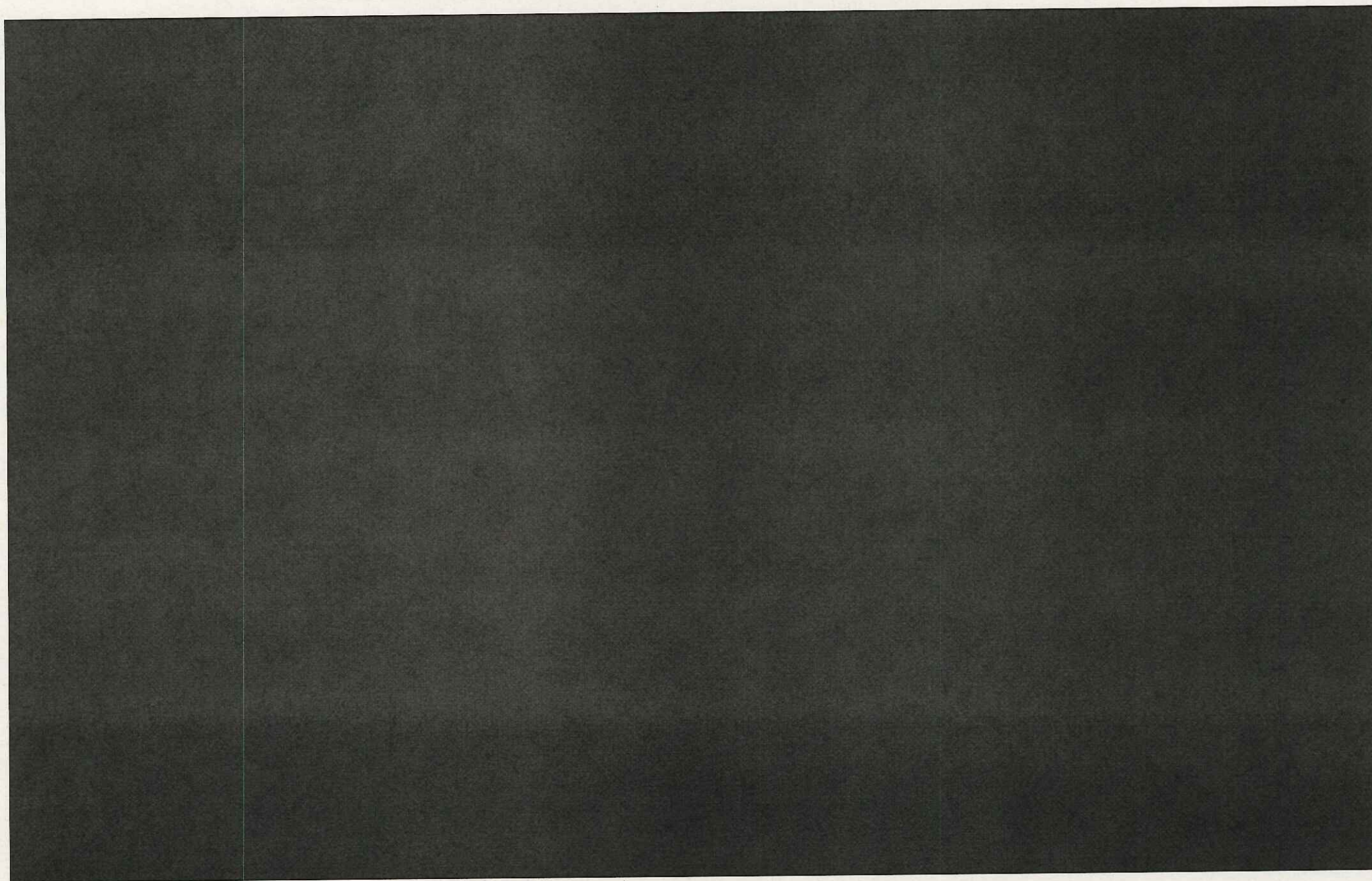
ミフラム設置



※ 赤字：作業完了により変更部分

UNハウス弾薬庫増設（10月29日現在）

63



地域脅威レベル評価（10月30日）

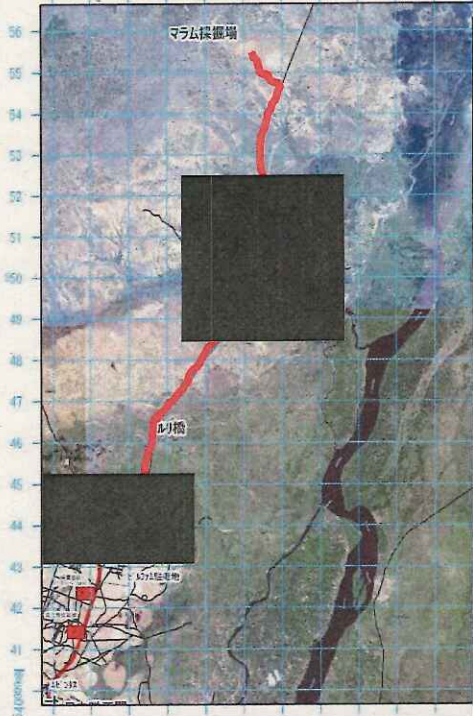
64
2016. 10. 28

1:80,000

マラム採掘場

#10UNWISS S-2
28.10.26

1 レベル	2 レベル	3 レベル	4 レベル	5 レベル	6 レベル
----------	----------	----------	----------	----------	----------



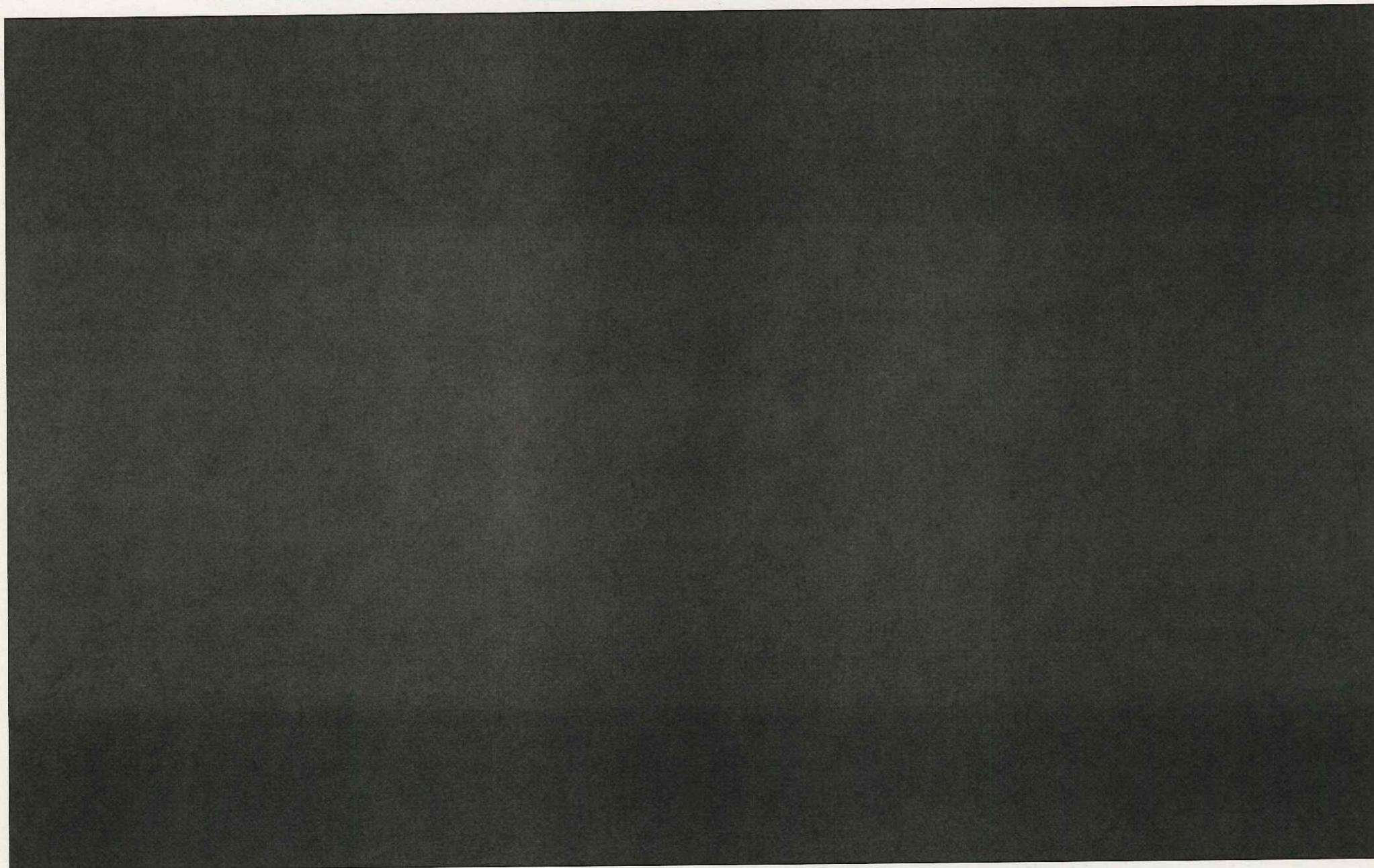
レベ

隊員服装・装備等基準

65

区 分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 (警備、経路偵察除く。)
備考			

警備の態勢 () (10月29日1700現在)



活動写真

自隊活動（宿营地）



文化の日イベント

自隊活動（宿营地）



文化の日イベント

自隊活動（宿营地）



文化の日イベント

自隊活動（宿营地）



文化の日イベント

活動写真

自隊活動（宿营地）



文化の日イベント

自隊活動（宿营地）



文化の日イベント

自隊活動（ジュバ市内）



HOH孤児院慰問

自隊活動（ジュバ市内）

HOH孤児院視察
（副隊長）